

7月 ほけんだより

令和3年7月1日発行
両国・なかよし保育園
看護師

だんだん日差しが強くなってきました。7月からはプールも始まります。暑さや気温の変化で疲れもやすい時期です。ご自宅ではゆっくり過ごせるようにご配慮ください。

7月の保健行事

*0歳児健診、未受診児健康診断(乳児)
7月1日(木)9:30~
ももぐみさんと健康診断未受診(乳児)のお子
さんは登園のご協力をお願い致します。

6月感染症

突発性発疹 3名

気をつけよう。夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主なる症状を挙げ
てみました。気になる症状がみられたら、病院受診しましょう。

ヘルパンギーナ

<症状>

高熱、咽頭痛が特徴。喉に水疱や潰瘍ができて痛みがひどく、乳児の場合はミルクが飲めない場合もあります。

<対応>

咽頭痛は熱がさがってからも続くことがあります。解熱後1日以上経過し、普段の食事ができれば登園可能です。



咽頭結膜熱(プール熱)

<症状>

39℃以上の発熱と咽頭痛があり、目のかゆみ・痛み・充血・涙目等結膜炎のような症状がでるのが特徴です。

<対応>

自宅で安静に過ごしましょう。解熱し、主要症状が無くなってから2日以上経過したら登園可能です。

手足口病

<症状>

手のひらや足の裏、口の中に小さな水疱や発疹ができ、熱がでることもあります。

<対応>

解熱後1日以上経過し、普段の食事がとれれば登園可能です。

おむつかぶれしていませんか

おむつかぶれ第一の予防は、おしりを清潔に保つこと。おむつはこまめにかえましょう。かぶれが見られたら、できれば交換のたびに患部をぬるま湯で洗い、よく水分をふきとってからおむつをつけましょう。



あせもに注意

あせもは、背中・ひじの内側・首・手首のくびれなどに多く現れます。白く小さな発疹は1~2日で治りますが、赤くなると強い痒みを伴って、治りにくくなります。夏場はこまめに汗をふき、外から帰ったらすぐにシャワーで汗を流すなど、皮膚を清潔に保つようにしましょう。